



エコアクション21

2023年度 環境活動レポート

対象期間： 2023年4月 ～ 2024年3月



株式会社ミライ化成

発行日： 2024年6月10日

目次

● 目次	P.1
● 会社概況	P.2
● 基本理念・環境方針	P.3
● 環境管理体制図	P.4
● 環境目標及びその実績	P.5
● 化学物質の管理	P.6
● 化学物質の販売実績	P.7
● リサイクル化の推進	P.8～9
● 環境配慮への推進	P.10～11
● 改善活動の取り組み	P.12
● 倉庫・物流の取り組み	P.13～14
● ミライ化成は未来へ	P.15～20
● 環境活動の取り組み計画と評価	P.21～22
● 環境関連法規制等取りまとめ表	P.23～24
● 代表者による全体の見直しと評価	P.25～27
● 環境経営目標と活動計画	P.28



会社概要

本社・長野事業所



M2base



伊那事業所



松本事業所



組織の概要

企業名	株式会社ミライ化成
代表取締役社長	中川 景介
所在地	本社：長野県千曲市雨宮2473 長野事業所：長野県千曲市雨宮2473 M2base：長野県千曲市雨宮2480-1 伊那事業所：長野県上伊那郡南箕輪村9003-1 松本事業所：長野県松本市笹賀6008番地 三沢Lab：青森県三沢市大津2丁目100-6 （三沢Lab及び松本事業所は2025年度対象拡大予定）
環境保全担当者	環境管理責任者：寺澤 章 管理事務局担当者：村松 浩実
連絡先	026-274-7662
従業員数	74名
資本金	20百万円
売上高	8,989百万円
事業所床面積	3,119㎡
事業内容	化学薬品、医薬品及び食品添加物等の販売業務、倉庫業 一般貨物自動車運送業、酒類販売
認証登録範囲	全組織・全活動



危険物倉庫



温度管理倉庫



一般倉庫



緑地



一般貨物車両



エコナビ



温度監視システム



太陽光発電システム

基本理念

株式会社ミライ化成は地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、化学薬品及び食品添加物を販売していくうえで地球環境の保全に配慮して行動します。



環境方針

私たちは環境にやさしい、よりよい企業活動を行う

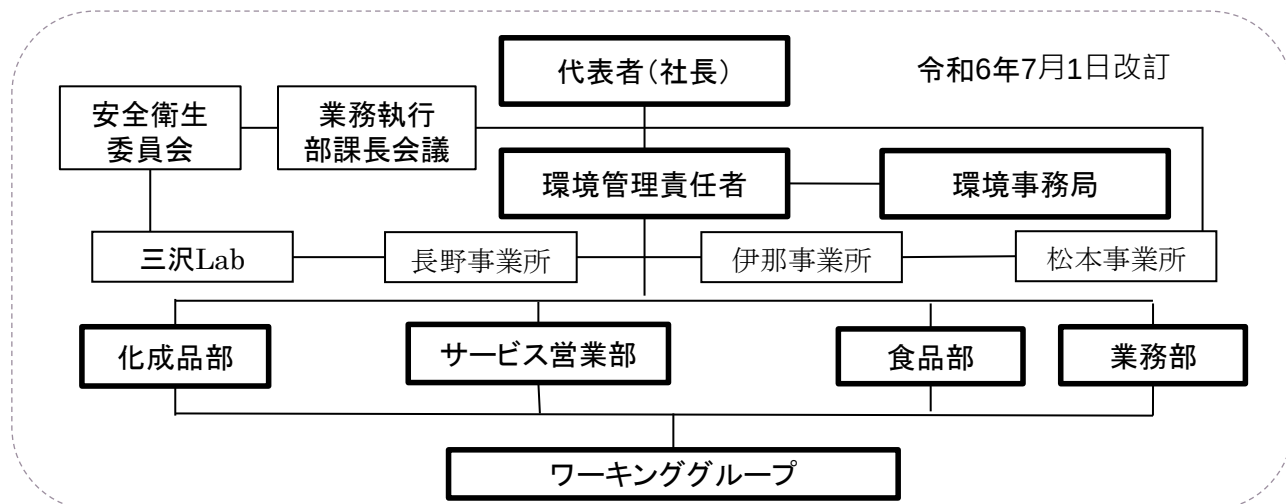
1. 環境マネジメントシステムを構築し、環境汚染の防止及び環境保全活動の継続的改善・向上を図ります。
2. 環境保全に関する全ての法規制及び当社が受け入れた利害関係者の要求事項を遵守します。
3. 事業活動の中で、特に以下の項目について優先的に活動を推進します。
 - ①環境保全活動
 - ②顧客の「グリーンパートナー」としての機能強化
 - ③省エネルギー活動
4. この環境方針の達成のため、環境目的・目標を設定し、全従業員を挙げて環境活動を推進していきます。
5. この環境方針は全従業員へ周知するとともに一般へも公開します。



令和3年4月1日

株式会社ミライ化成 代表取締役 中川 景介

環境管理体制図



役割・責任・権限	
代表者 (社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間・技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境 事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ票の作成 ・環境関連法規等取りまとめ票に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成・公開
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

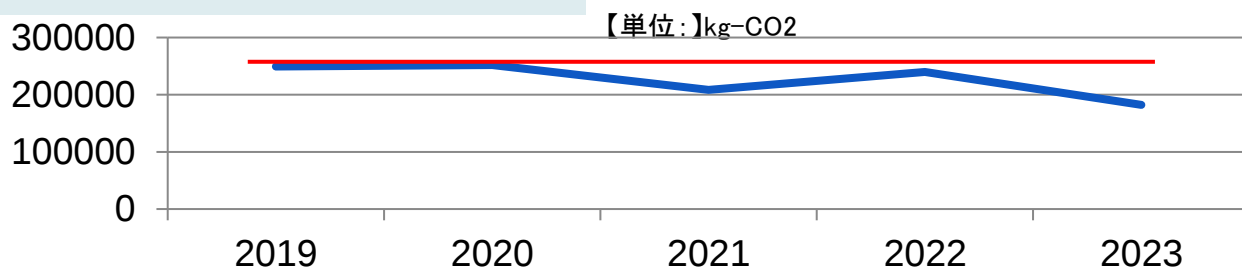
環境目標及びその実績

年 度		2020年	2021年	2022年	2023年
項 目		(基準年度)	(実績)	(実績)	(実績)
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	64,907	69,351	66,270	52,816
	基準年度比		107 %	102 %	81%
	売上原単位	0.0088	0.0080	0.0073	0.0059
	基準年度比		91 %	83 %	67%
ガソリン・軽油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	184,410	160,212	173,673	129,388
	基準年度比		86 %	94 %	70%
	売上原単位	0.0250	0.0184	0.0192	0.0144
	基準年度比		74 %	77 %	58 %
上記二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	249,317	229,563	239,943	182,204
	基準年度比		91 %	96 %	73 %
一般廃棄物	kg	2,685	9,866	16,070	19,043
	削減率		367 %	599 %	709%
循環資源	kg	33,399	47,086	60,905	60,452
	全廃棄物	36,084	61,426	84,731	79,604
	リサイクル率	93%	77 %	72 %	76 %
節水	m ³	322	356	361	309
	基準年度比		111 %	112 %	96 %

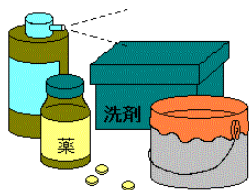
電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の2019年度の調整後排出係数を用いている。

≫二酸化炭素 年間排出量推移

【0.426kg-CO2/kwh】



化学物質の管理



化学物質を取り扱う商社として法令を遵守し
社内手順・基準に従い安全管理、環境保全に努めます。

■弊社取扱い政令改正後の第一種指定化学物質リスト

改正後の 号番号	CAS番号 (参考) * 1	物質名 * 2	別名 * 3	特定第一種指 定化学物質 * 4	元素等に換算する 化学物質	改正前の 号番号 * 5
13	75-05-8	アセトニトリル				1-012
80	1330-20-7	キシレン				1-063
88	-	六価クロム化合物		○	クロム(Cr)に換算	1-069
127	67-66-3	クロロホルム				1-095
144	-	無機シアン化合物 (錯塩及びシアン酸塩を除く。)			シアン(CN)に換算	1-108
150	123-91-1	1, 4-ジオキサン				1-113
186	75-09-2	ジクロロメタン	塩化メチレン			1-145
237	-	水銀及びその化合物			水銀(Hg)に換算	1-175
239	-	有機スズ化合物			スズ(Sn)に換算	1-176
262	127-18-4	テトラクロロエチレン				1-200
272	-	銅水溶性塩(錯塩を除く。)			銅(Cu)に換算	1-207
281	79-01-6	トリクロロエチレン				1-211
300	108-88-3	トルエン				
304	7439-92-1	鉛				1-230(※)
305	-	鉛化合物		○	鉛(Pb)に換算	1-230(※)
308	7440-02-0	ニッケル				1-231
309	-	ニッケル化合物		○	ニッケル(Ni)に換算	1-232
374	-	ふっ化水素及びその水溶性塩			ふっ素(F)に換算	1-283
384	106-94-5	1-ブロモプロパン				
392	110-54-3	ノルマル-ヘキサン				
395	-	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩				
405	-	ほう素化合物			ほう素(B)に換算	1-304(※)
411	50-00-0	ホルムアルデヒド		○		1-310

化学物質の販売実績

当社は、製造会社でない為、PRTR対象物質について使用はないが、販売会社としてPRTR法のSDS制度対象化学物質(第一種、第二種指定化学物質)の年間販売量の把握に努める。

■販売実績

8改正後の 号番号 926225	CAS番号 (参考) * 1	対象品名	2020年	2021年	2022年	2023年
			KG	KG	KG	KG
127	67-66-3	クロロホルム	13	31	11	8
13	75-05-8	アセトニトリル	301	1,104	206	879
384	106-94-5	ブロムプロパン	12,500	12,250	45,000	9,000
80	1330-20-7	キシレン	810	900	720	540
144	-	シアンカリウム	12,238	14,573	12,944	13,989
186	75-09-2	ジクロロメタン	27,500	2,400	19,500	29,500
305	-	鉛化合物	160	175	225	80
281	79-01-6	トリクロロエチレン(トリクロ)	25,490	24,070	13,340	18,850
308	7440-02-0	ニッケル	2,214	13,695	16,415	13,240
300	108-88-3	トルエン	17,177	6,800	5,440	8,524
374	-	フッ化水素酸	0	0	0	0
392	110-54-3	N-ヘキサン	558	1,996	180	216
395	-	ペルオキソ硫酸カリウム	3	2	2	2
395	-	ペルオキソ2硫酸アンモニウム (過硫酸アンモニウム)	45,750	47,225	41,875	36,626
395	-	ペルオキソ2硫酸ナトリウム (過硫酸ソーダ)	285,050	322,675	279,650	262,250
405	-	ホウ酸	2,850	1,950	12,025	4,400
411	50-00-0	ホルマリン	99,910	107,260	14,230	77,360
272	-	銅水溶性	267,184	477,160	402,780	420,140
						895,604

リサイクル化の推進

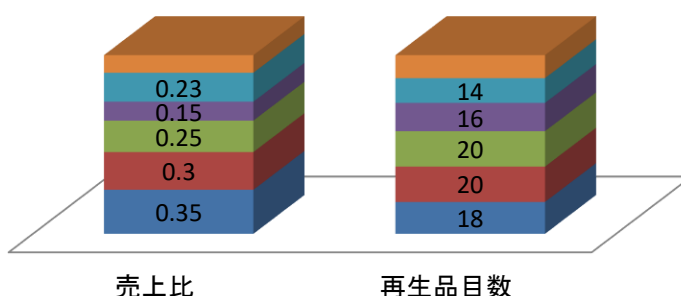


化学分野における3R推進のため、化学薬品などの再利用、再使用の仕組みを提案し、廃棄物の削減に取り組む。
2023年度の総売上に対し、再生品の販売を0.3%目指す。

〈項 目〉	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
再生品目数（品目）	20	20	16	14	13
再生品売上金額（千円）	19,607	18,558	12,749	20,587	12,394
年間売上金額（千円）	6,458,929	7,380,294	8,717,870	9,058,653	8,988,817
売上比	0.3%	0.25%	0.15%	0.23%	0.14%

再生品売上比

■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年



【結果】再生品の売上金額は、昨年度より上がった。売上が伸びた分目標には届かなかった。電子部品関連薬品、貴金属の価格上昇、製造装置などの売上が大幅に増加した事が要因と思われる。

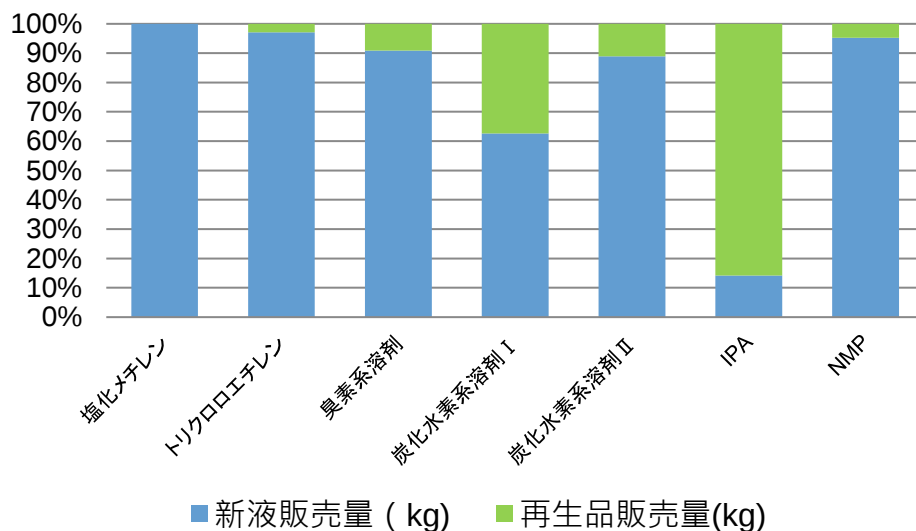


溶剤の再生品販売率

新液の販売量に対する再生(リサイクル)品の割合を高める。

品名 100	新液販売量(kg)		再生販売量(kg)		新・再販売率	
	2020年	2023年	2020年	2023年	2020年	2023年
塩化メチレン	24,000	29,500	3,500	0	10.3%	0 %
トリクロロエチレン	23,490	9,570	2,000	290	8.5%	3 %
臭素系溶剤	12,500	9,000	3,250	900	26%	10 %
炭化水素系溶剤Ⅰ	450	10,400	6,400	6,200	142.2%	59.6 %
炭化水素系溶剤Ⅱ	9,544	1,600	3,418	200	35.8%	12.5 %
I PA	21,984	5,400	70,754	32,774	321.8%	607.9 %
NMP	51,660	7,990	200	400	0.3%	5.0 %

溶剤の再生品販売



【結果】

基準年の2020年度に比べると炭化水素系溶剤ⅠとIPAも再生品の販売率が伸びている。お客様の環境負荷物質の溶剤への転換が進んでいる。

環境配慮への推進



2023年度総売上に対する環境負荷の少ない商品の販売比率
3%を目指す。

年度	売上高	グリーン商品	売上比(%)
2020年度	7,380,294千円	187,569千円	2.5 %
2021年度	8,717,870千円	277,003千円	3.2 %
2022年度	9,058,653千円	88,504千円	1.0 %
2023年度	8,988,817千円	98,505千円	1.1%



【結果】2023年度売上比の3.0%を目標に行動した結果、1.1%の実績となり目標には届かなかったが昨年より微増となった。引き続きグリーン商品の販売推進に注力していきたい。

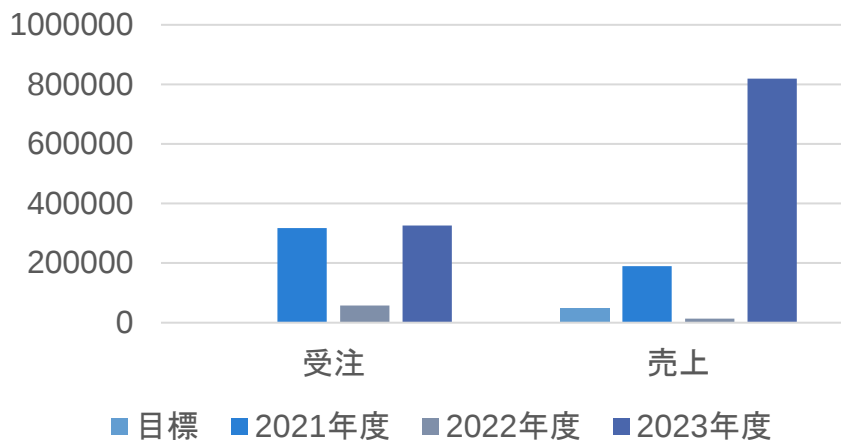


環境配慮型装置の販売を促進し、年間売上
50,000千円を目指す。



	目標	2021年度	2022年度	2023年
受注（千円）		317, 299千円	57,706千円	326,105千円
売上（千円）	50,000千円	190, 309千円	13,459千円	813,231千円
目標比		381 %	26.9 %	1626%

環境配慮型装置の販売促進



【結果】数年前より力を入れて取り組んでいる環境配慮型装置の販売を推進してきた。お客様も環境を配慮した装置を検討されている。コロナ禍の影響で受注が延伸していた分が動き始めたため売上を大きく伸ばした。



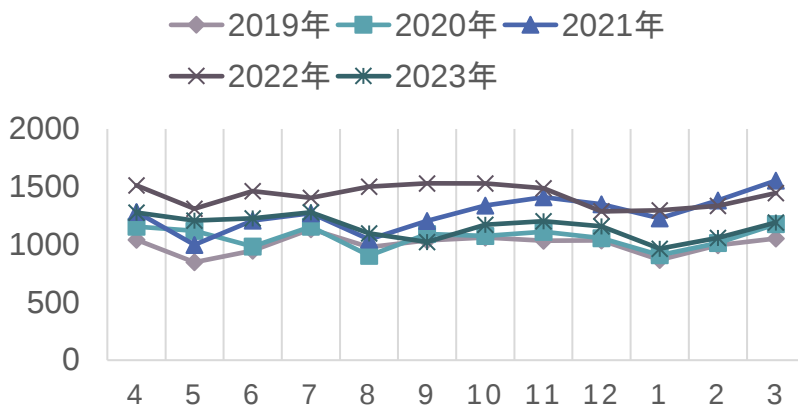
改善活動の取組



全社員が少人数のグループに分かれ、業務改善活動を毎月1回行い、年間で100分/1日の工数削減及び、安全・衛生利益改善提案に取り組んだ。

	業務改善時間	クレーム件数 (自社起因)	残業時間
2020年度 (基準年)	864分/日削減	16件 (13)	12,671.7時間
2021年度	602分/日削減	15件 (9)	15,267.9時間
2022年度	350分/日削減	17件 (12)	17,100.9時間
2023年度	955分/日削減	4件 (3)	13,858.7時間
基準年比	91分/日削減	▲12件 ▲(10)	1,187時間 増

残業時間



【結果】各チーム活発な改善活動ができた。工数削減に繋がる改善が多く出たが、売上増や人員増などで残業時間が増えてしまった。

倉庫・物流の取り組み



- 倉庫管理規程、毒物劇物危害防止規程並びに関連する手順書、保守管理基準により、工業薬品の保管、取扱作業の安全を期する。
- 「防災マニュアル」に従って、緊急事態に対応する訓練を定期的の実施して、事故の未然防止に努める





Gマーク

交通安全対策の取り組みを評価する **安全性優良事業**

- ① 安全性に対する法令の順守
- ② 計画的な運用
- ③ 事故や違反の撲滅
- ④ 安全性に対する取組の積極化
- ⑤ 車両整備・運用の徹底

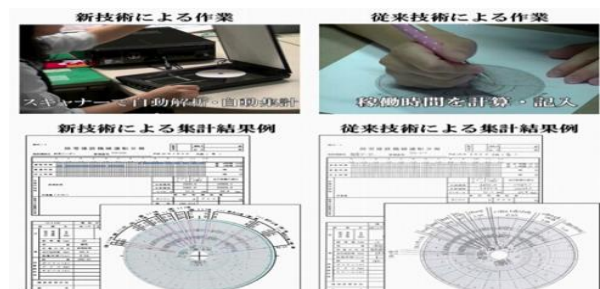
2018年
Gマーク取得



配送
プロ自覚

管理の質
向上

Gマークをつけて走ることで常に見られているという意識を持つようになり、ドライバーに配送のプロであるという自覚が芽生え安全に対する意識が高まった。またこれまで曖昧だった安全対策がGマークの取得をきっかけに、管理面の基準が明確化され、会社全体で統一した安全管理の質も向上した。



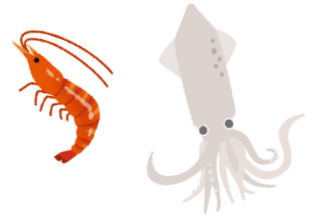
ミライ化成は未来へ

M2Lab開設！ M2baseに実験室を開設し オリジナル商品の開発や検証を行っています。

・食品改質剤(レスドリップST)

食材の加熱収縮を抑制 歩留り率10%以上UP!

- ①茹で、蒸し調理で食材の収縮を抑制。
- ②食材のうま味・アミノ酸を保持する。
- ③浸漬時間不要・・・省エネ効果&CO2排出量削減。



・PP165乳酸菌



信州大学・中野商工会議所との共同研究
味噌蔵から見つかった乳酸菌です。
腐敗菌を抑制する働きがあり減塩できる
だけでなく旨味もUPします。

・強アルカリイオン水

電気分解によってアルカリイオンを大量に含んだ水が、汚れに含まれる水素イオンを強力に引きつけ、中和することで汚れを分解します。洗浄・除菌・消臭効果が高く、新型コロナウイルスに対しての不活化効果も確認されました。



M2Lab設備



クリーンベンチ



インキュベーター



オートクレープ



遠心分離機

ミライ化成は未来へ



弊社お客様のお困りごととして、



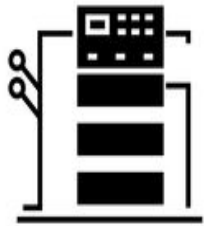
人手不足 の問題が多く聞かれます。

※帝国DBによると、日本全国で49.2%が人手不足を感じ、都道府県別では長野県は3位。

この問題の解決を目指した2つの取り組み



① 自動化省人化のご提案



人手を必要とする作業を機械に置き換え、自動化して省人化を図る装置ご提案を実施中。
その中でも環境配慮性の高い製品を選定し推奨している。



② ベトナム実習生のご紹介



自動化できない「人」を必要とする作業については、日本で働き技術を学びたいというベトナム実習生を、長野県企業様にて受入れていただきそのサポートしている。

※弊社グループ会社のオレオウ・ベトナム事業協同組合と委託契約を締結して実現

ミライ化成はこれからも、
お客様密着型お困りごと解決会社を
目指して参ります。

ミライ化成は未来へ



再生炭素繊維事業

炭素繊維複合体の活用が進む中、リサイクル炭素繊維の普及が進んでいない。当社独自開発技術を用いて、再生炭素繊維を用いた複合材の研究・開発を行っています。再生炭素繊維事業の開発拠点として、青森県に「三沢Lab」を開設しました。



熱分解法（サーマルリサイクル）

溶媒法（ケミカルリサイクル）

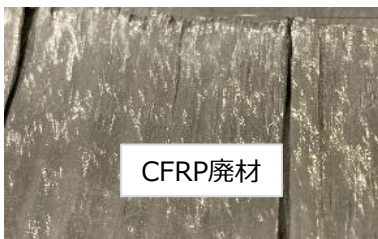
■独自の炭素繊維再生技術を保有

溶媒法（ケミカルリサイクル）をベースとした独自技術による炭素繊維の回収
残存樹脂や表面特性をある程度コントロールすることが可能

■長繊維状態のまま再生・回収が可能

廃材の形状に依存するものの、クロス材、長繊維は元の繊維長と形状を保持し
たまま回収が可能

（残存樹脂5%未満）



繊維長：約1m

ミライ化成は未来へ



製品紹介

■ 10mm強～150mm程度の再生炭素繊維を混合させた炭素繊維100%不織布作成に成功

断熱、電磁波遮蔽性などの機能検証を進めるとともに、樹脂繊維混紡不織布の成型板試作も実施

■ 不連続繊維の特長を生かした成形を目的とした再生炭素繊維100%紡績糸の開発に着手

条件最適化により、太さ数mm前後の紡績糸化を見込んでいる。



＜不織布＞



＜紡績糸＞



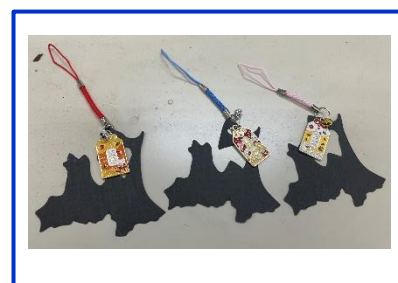
＜コンパウンド外観図＞



＜試作例＞ ペットボトルオープナー



＜試作例＞ ギア部品



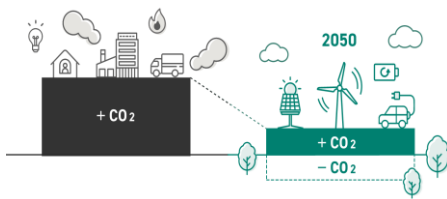
＜試作例＞ キーホルダー

ミライ化成は未来へ



温室効果ガスの排出を全体としてゼロに カーボンニュートラル

全世界の共通課題であるカーボンニュートラルの達成に貢献すべく、当社では商社という立場を活かした幅広い取扱いラインナップで、お客様の生産性向上やコストダウンのご要望にもお応えが出来るよう、総合的なご提案を行っています。



LED照明



- ▶電気代の削減と交換頻度の低減を実現

特殊表面処理 コート



- ▶長寿命化☞廃棄物量減
簡易清掃☞洗剤使用量減

オーダーメイド微生物処理



- ▶処理費用や温室効果ガスの削減に貢献

溶剤再生装置



- ▶処理費用や温室効果ガスの削減に貢献

ソーラー発電監視カメラ

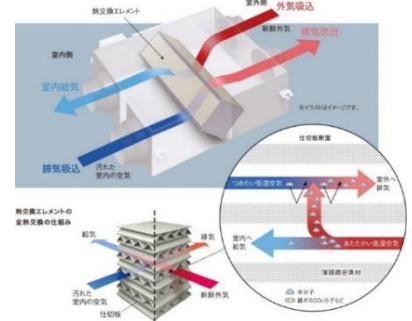
ソーラーパネル付き
防犯カメラ

※太陽電池モジュール・監視カメラの設置



- ▶自然エネルギーを活用した環境配慮型カメラ

高機能換気設備全熱交換機



- ▶感染症対策と消費電力の低減を同時に実現

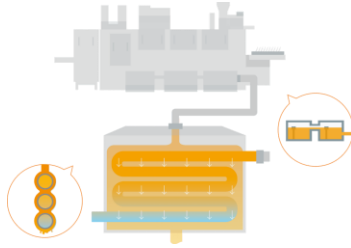
ミライ化成は未来へ



保温クロスジャケット



流下液膜式熱回収ユニット



一液水性反応型断熱塗材



▶メンテナンス時の脱着
が簡単で何度も使用可

▶ユニット化された熱交
換装置を繋ぐだけ！

▶冷暖房費の削減！
業務環境改善◎

太陽光発電システム



熱水殺菌仕様純水ユニット



ドレン水活用冷却ユニット



▶再生可能エネルギーの
代表格！補助金活用も

▶コスト約54%削減！
CO2も約53%削減！

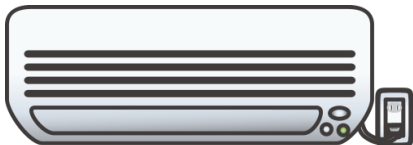
▶小型ルームエアコンから
中型空調機まで対応！



環境活動の取り組み計画と評価

取り組み評価： ◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×できなかった

取り組み計画	取組状況	評 価(結果と今後の方向)
◆電力による二酸化炭素排出量の削減・・・猛暑及び人員増などで削減が難しかった		
・エアコンの設定温度徹底 (冷房28℃・暖房20℃)	◎	様々な節電対策はよく行われており、個々の節電意識も高くなっている。人員増、感染防止対策の座席分散化により電気使用量が増加していたが、節電に取り組みCO2削減ができている。太陽光発電により電気使用量も減っており更なる削減に期待する。夏場の倉庫温度保持・温度変化は特に監視を高め、品質保持に努めていきたい。
・休み時間・不要時の消灯の徹底	◎	
・エコナビによる消費電力の監視	◎	
・パソコンのピークカット(夏季)	◎	
・クールビズ・ウォームビズ実施	◎	
◆自動車燃料による二酸化炭素排出量削減・・取組により安全運転を心掛け事故防止に繋がっている		
・社有車のハイブリッド車導入	◎	教育訓練や交通安全講習などが定着し安全運転への意識向上、ハイブリッド車への入れ替えや配達ルートの工夫などにより化石燃料削減ができてきている。
・エコドライブの徹底(テレマテクス)	◎	
・点検、整備の徹底	◎	
◆廃棄物の削減・・・取組が結果に繋がらず廃棄物増となってしまった 更なる工夫が必要である		
・分別の徹底	◎	コンプライアンスで裏紙使用禁止。溶解処理導入など行い分別が進んだがゴミが増えたためリサイクル率が下がってしまった。レイアウト変更などで一般ゴミが増加。ゴミ排出の削減を呼び掛けていく。書庫整理のため機密文書の高濃度パルパー処理を導入し、リサイクル率が向上した。
・紙のリサイクル化の更なる徹底	◎	
・会議資料などのペーパーレス化	◎	
・ラップフィルム・PPバンドのリサイクル	◎	
・印刷の工夫で使用量削減	◎	
◆節水		
・全員で節水に心掛ける	◎	節水への取組みの意識は浸透している。



環境活動の取り組み計画と評価

取り組み評価： ◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×できなかった

取り組み計画	取組状況	評 価(結果と今後の方向)
◆改善活動・・・全社員8チームに分かれての改善活動が活発に行われた		
・100分/1日の工数削減	◎	毎月の改善活動は意欲的に行われ、工数削減に繋がる提案が多くでた。チーム活動で社員間のコミュニケーションが改善された。QMS委員会によるクレームの原因究明・対策実施を全員で共有したことで削減が進んだ。
・クレーム削減	◎	
・リスクアセスメント	◎	
◆製品への環境配慮・グリーン購入		
・環境配慮型装置の販売	◎	お客様の環境配慮への関心も高まるなか、お困りごとを聞き解決する取組みが成果をあげた。グリーン商品の販売推進の取組みを強化していきたい。
・グリーン商品を積極的に取り上げる	○	
◆社会貢献		
・緊急事態対応訓練	◎	防災訓練は感染防止対策を行いながらしっかりできた。社員の積極性も出てきて業務にプラスになっている。
・被災地への救援活動	○	
・会社周辺の清掃活動	○	



改善会議



スピルキット(配送車用)



防災訓練



防災訓練



安全訓練



草刈り

環境関連法規制等取りまとめ表

環境関連法規の遵守状況を実施した結果、環境法規等への違反・訴訟はありませんでした。

番号	環境法令	内容	確認	
1	悪臭防止法	測定・届出の義務はないが、事故があった場合、市長への報告が必要	○	薬品の適正な保管 温度管理
2	廃棄物処理及び清掃に関する法律	廃棄物の分別・保管場所での廃棄物の種類や管理者の表示 廃棄物の運搬及び処理の委託契約、マニフェストの交付及び回収 マニフェスト実績報告(H20年6月より)	○	一般廃棄物、産業廃棄物の適正管理
3	薬機法	医薬品卸販売業・高度管理医療機器の適正な保管及び販売	○	
4	毒物及び劇物取締法	毒物劇物取扱責任者の選任 盗難防止の処置、飛散や漏洩の予防処置 容器や貯蔵所に[医薬用外]・[毒物]・[劇物]の表示、施錠 事故、盗難、紛失の届出及び譲受書の保管	○	毒物・劇物 指定倉庫 監視カメラ設置
5	環境基本法	事業活動に係る製品等が廃棄物となった場合の対応 環境への負荷の低減、環境保全に努め、国または地方公共団体に協力する	○	
6	地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	テレマティクスを取付け、エコドライブに努め、燃費の向上とCO ₂ 削減に取り組む 蛍光灯をLEDに切り替える	○	ハイブリット車の導入 エコドライブの推進 クールビズ、ウォームビズの実施

環境関連法規制等取りまとめ表

番号	環境法令	内容	確認	実態
7	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	年一回の排出量と移動量の届出 対象事業所：47種、製造業は全業種 常用雇用者数21人以上 取扱量が第1種指定化学物質で年間1t 特定第1種指定化学物質が0.5t以上（例 アセトアルデヒド、石綿、水銀及びその化合物、トリクロロエチレン、トルエン、ニッケル等	○	製造業では無いが販売業者として、取扱量を把握する
8	消防法	危険物の貯蔵又は取扱と設置の許可 危険物保安監督者の設置届 危険物の貯蔵又は取扱所の定期点検と記録の保存 火災予防規定を定め、市長の許可を得る 消火器の設置 警報機の点検実施	○	危険物倉庫保管 第4類許可数量 長野 62,400L 伊那 6,320L ※毎月棚卸にて把握
9	労働安全衛生法	MSDSの交付 化学物質等の表示・文書交付制度 （2006年12月1日実施）	○	
10	道路法	荷崩れ防止の為に固定ベルトを使用	○	箱車 ラッシングベルトの装着、ラップ巻
11	道路運送車両法	車検登録、点検、整備	○	
12	道路交通法	安全運転の実施 （テレマテクス・交通安全講習） 運行日報の確認と保管 積載量の遵守	○	テレマテクスによる運行記録の確認と指示
13	倉庫業法	営業倉庫の適正な保管業務 安全対策	○	
14	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の運搬業許可 実績報告	○	
15	フロン排出抑制法	管理する第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全	○	

代表者による全体の見直しと評価

2023年度振り返り

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類となる一方ロシアによるウクライナ侵攻が2年目となり、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争が勃発し世界の経済や社会情勢が緊張、先の見通せない状況となりました。また、令和5年1月には能登半島地震が発生し多くの方が被災されました。

【CO2削減】

燃料は事業の拡大の中、トラックによる配送量は増え軽油の使用量は増加したが、車両の大型化などにより業務の効率化が進んだ。営業活動はコロナが5類に移行し少しずつ行動範囲が広がる中、WEB会議・面談の定着もあり、営業車両のガソリン消費は維持された。売上原単位では削減となった。

一方、電気は前年より人員増や感染症対策の為、空調関係の電気使用量は増加したが、こまめな節電対策に努め、また3月に導入した太陽光発電システムの成果が出て大きく削減となった。



【廃棄物削減】

一般廃棄物に付いては、昨年に続き事務所のレイアウト変更による事務用机などの廃棄や、事業活動である空調機器の販売や取り付け、展示会参加などで発生した産廃処理等があり増加した。引き続き廃棄物の適正処理や再資源化を目指しリサイクル活動を推進します。

【化学物質管理】

当社は化学品の専門家としてお客様に化学物質の適正な使用と保管を進め、より地球環境に適した商材への転換やリサイクルを提案して、お客様に於ける環境負荷低減のお手伝いは図れたと感じる。

また、エネルギーコストが増大する中、環境配慮型装置の販売や省エネ提案を進めて大きく実績化できた。



【提案・委員会活動】

少人数グループでの改善活動・各種委員会等に全社員が自主性を持って参加し、日々の事業活動においてエコ活動への意識を高めるなかで、無理・無駄をなくし働き方改革に取り組んだ。また、QMS委員会にてクレームやトラブルの真因究明を行い再発防止策を全社員に共有することで、労働災害、薬品の盗難・漏洩事故等の防止に努めた。

【社会貢献活動】

構内や駐車場の草取り、道路の清掃を通じて地域の社会貢献活動も積極的に行った。

防災訓練やAEDを用いた救急救命講習を行い、社内のリスク管理や近隣住民の皆さんのもしもの場合の手助けが出来る様活動した。

また、1月の能登半島地震の折はトラックを活用し迅速に救援物資を現地に届けた。



次年度に向けて

環境方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制の見直しを行った結果、継続すると共に、化学品専門商社として自らの事業活動を通じてエネルギー消費、CO2削減、グリーン調達活動の推進への取組みを拡大して社会貢献して行きます。

【環境対応商品の開発】

炭素繊維リサイクル事業に付きまして、国の「ものづくり補助金」の採択を受け、青森県三沢市にLabを2021年開設、2022年パイロットプラントが完成、サンプルの出荷を始めました。

六戸町の金矢工業団地に2025年1月24日竣工予定の新しいLabを建設し三沢より移転する予定です。

食品関係では食品改質剤を開発し、食品製造における歩留まり向上を目指し、フードロス削減に貢献して参ります。



【気候変動への対応】

2022年COP21でのパリ協定の採択からマーケットルールに於いてもサプライチェーンのCO2削減が必須化しています。こうした中、気候変動への取組みを強化し、脱炭素社会の実現に貢献することを目指して参ります。（グループTFDE委員会の設置）

【SDGsへの取組み】

国連が推奨するSDGsへの取組みとして、社員のライフサイクルに合わせた多様な働き方環境を築き、引き続き良き企業市民として社員一丸となり、地球環境の保護と社会貢献活動への取組みを支援して参ります。



2024年～2026年度環境経営目標と活動計画



項目		基準値 (2023年度)	目標	基準 年度 比	達成手段
二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量削減(維持) (排出係数 0.459kgCO2/kwh)	56, 908 kg-CO2	56,908 kg-CO2	100%	・不要照明の消灯 ・残業時間の短縮 ・空調温度の適正化 ・LEDへの変更 ・クールビズ、ウォームズ ・節電シール貼付
	売上高原単位評価	0.0059 Kg-CO2/千円	0.0059 Kg-CO2/千円	100%	
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減(維持)	129,388 kg-CO2	129,388 kg-CO2	100%	・エコドライブ運動 ・アイドリングストップ ・効率的ルートで配送 ・定期点検の実施
	売上高原単位評価	0.0144 Kg-CO2/千円	0.0144 Kg-CO2/千円	100%	
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	19,043 kg	19,043 kg	100%	・分別の徹底 ・印刷の工夫
	リサイクル率の推進	76 %	76 %	100%	・素材別BOXの設置 ・業者の開拓 ・分別の徹底
排水量	水道水の削減	309 m ³	309 m ³	100%	・節水シール貼付
環境配慮	グリーン調達の推進	販売比率 1.1 %	販売比率 1.1 %	100%	・有毒性の少ない商品の販売
	環境配慮型装置・商品の販売促進 ・CFRP(リサイクル炭素繊維)の開発、研究 ・乳酸菌PP165用途展開 ・食品改質剤の開発、用途展開 ・強アルカリ水販売推進	813 百万円	813 百万円	100%	・自動化省人化委員会 ・営業勉強会
改善活動	・100分/日工数削減 ・安全衛生利益改善 ・社起因クレームゼロ ・残業時間削減 ・人材育成	工数削減 955分/日 残業削減 13,859時間 クレーム 4 件	・100分/日工数削減 ・社起因クレームゼロ ・残業時間削減		・小グループでの改善活動 ・クレーム報告会 ・各種委員会 ・各種プロジェクト

※事業拡大、人員増加などの影響により2024年度～2026年度の中期環境経営目標は基準年度(2023年度)の維持を継続することとする。